記入者：大津　拓馬

作成日 平成25年11月29日

|  |  |
| --- | --- |
| **議 事 録** | |
| 日　時 | 平成25年11月29日(金)9:30～11:00 |
| 場　所 | 船橋情報ビジネス専門学校504教室 |
| 参加者 | 田邊先生、石井先生、3G1 |
| 発表者 | 長谷尾(オペレーター)、亀井、大木、大津(プレゼンター)、菊池 |
| * 発表内容   旅行斡旋システム　システム開発中間報告  ・第1章　システム開発の経緯  会社概要と、当社の抱える問題である売り上げの減少を、グラフを用いて簡潔に説明。次に、売り上げ減少の原因が旅行者数の減少とアンケートの旅行プランのマンネリ化であることを説明。最後にこれらを踏まえたシステム開発の目的として自社掲示板を作成することを説明。  ・第2章　主要機能  はじめにシステム全体像をスライドで説明し、主要機能であるプラン投稿画面とコメント投稿画面を資料の画面レイアウトを見てもらいながら説明。  システムのメリットとして、旅行プランを簡単に利用できることと、予約が簡単にできること、旅行プランのマンネリ化を防止するということを説明。  デモンストレーションを行い、現段階でできている部分を説明。  ・第3章　今後の予定  ガントチャートをもとに進捗状況を説明。   * 質疑応答   Q：色々と旅行プランが投稿できるが、予約の際はそのプランをすぐに適応できるのでしょうか？(田邊先生)  A：こちらが微調整をしたのちに可能となります。(大津)   * 講評の内容   ・良かった点  声が渋い。聞き取りやすかった。  ・改善してほしい点  資料を読み上げているだけに感じる。「それでは次に○○について説明します」など、つなぎ  の言葉を入れること。  OPとの連携不足が目立っていた。（発表前日にプレゼンターが欠席しているためと思われるが。）  質疑の時には全員で立って対応すること。  １   * 所感   ・良かった点  声のトーンはよかった。(長谷尾）  内容がまとまっていたし聞き取りやすかった。(亀井)  声が良かった。 (大木）  リハーサルの時よりはよくなっていたと思う。（大津）  リハーサルの指摘を踏まえて内容が良くなっていた。 (菊池）  ・改善してほしい点  プレゼンターが臨機応変に対応できていなかった。(長谷尾）  乱丁、落丁を聞く際に、枚数の確認を怠っていた。(亀井)  準備をしっかりやっていれば本番もスムーズに行えたと思うので練習などをもっとしっかりするべきであった。(大木)  オペレーターの動きに臨機応変に対応できていなかった。また、前を見ず資料ばかり見ていた。  (大津)  資料を見すぎていた。 (菊池）   * 前回の改善事項について   時間内に収めることや、整列、声量などは改善できていたと思います。  しかし、前回の改善事項でもあるデメリットを踏まえた上での説明があまりできていなかっ  たので、次回のプレゼンテーションではもっと取り入れていきたいと思いました。   * 次回に向けた改善事項   ・デメリットをふまえた上での説明をもう少し入れる。  ・資料を見すぎず前を向くようにする。  ・もう少し＋αを入れる。  ・オペレーターとの連携をしっかりと取れるようにする。  ・乱丁、落丁の確認をしっかりとする。  ・欠席者のせいで少し遅れが出ているので、必ず出席するように。  ・すべての質疑に対応できるようにする。  ２ | |